

令和3年度広島県立教育センター前期教員長期研修

研修種目 特別支援教育

研究主題

### 協働的な学びを促す指導の工夫

— 一人一人の「困難さ」に応じた「話す」力の育成を目指すデジタル教材の開発を通して —

- 「話すことチェックリスト」(第3・4学年担任用)・・・p.1
- 「話すことチェックリスト」(第5・6学年児童用)・・・p.2
- デジタル教材一覧 ……………pp.3～7
- デジタル教材を使用する流れ……………pp.8～10

## 〈話すことチェックリスト（第3・4学年担任用）〉

チェック項目	チェック
① 話す声が小さくて聞き取れないことがある	
② 話す声が大きすぎる	
③ 話す速さが速すぎて聞き取れないことがある	
④ 話す速さが遅すぎる	
⑤ 「テレビ」を「テレビレ」など、言葉の中の音の並びを言い間違えることがある	
⑥ 何と云えばよいのか分からなくなったり、言葉につまったりする	
⑦ ある言葉を間違った意味において使うことがある	
⑧ 主語、述語の文が作れないなど、文法構造の理解ができていない	
⑨ 「は」「が」「を」「へ」などの助詞を適切に使うことが難しい	
⑩ 伝えたい内容を分かりやすく伝えることが難しい	
⑪ 思いつくままに話すなど、筋道の通った話をするのが難しい	
⑫ 敬語など、ていねいな言葉で話すことが苦手である	
⑬ その場の話題と異なる話題を話すことがある	
⑭ 文ではなく、単語で話すことがよくある	
⑮ 長い文章で、くわしく説明することが苦手である	

## 〈話すことチェックリスト（第5・6学年児童用）〉

チェック項目	チェック
① 「声が小さくて聞こえないよ」と言われることがある	
② 「声が大きすぎるよ」と言われることがある	
③ 「話すのが速すぎて聞き取れないよ」と言われることがある	
④ 「話す速さが遅すぎるよ」と言われることがある	
⑤ 「テレビ」を「テレビレ」など、言葉の中の音のならびを言いまちがえることがある	
⑥ 何と言えばよいのか分からなくなったり、言葉につまったりする	
⑦ 意味が分からない言葉がある	
⑧ 「わたしは」「〇〇が」などの主語をつけずに話すことがある	
⑨ 「～は」「～が」「～を」「～へ」などの言葉をまちがえてつかうことがある	
⑩ 話をしていると、「話が分かりにくいよ」と言われることがある	
⑪ 思いつきで話をして、何の話をしているのか分からなくなることがある	
⑫ 敬語など、ていねいな言葉で話すことが苦手である	
⑬ 話をしていると、「今は、その話はしてないよ」と言われることがある	
⑭ 文ではなく、単語で話すことがよくある	
⑮ 長い文章で、くわしく説明することが苦手である	

# デジタル教材一覧

「話す」ことにおける「困難さ」	チェックリスト項目(児童用)	チェックリスト項目(担任用)	タイプ	教材		教材ごとの「困難さ」を改善・克服するために必要となる力	「困難さ」を改善・克服するために必要となる力
				タイトル	内容		
(1)適切な声の大きさや速さで話すことが難しい	①「声小さくて聞こえないよ」と言われることがある ②「声大きすぎるよ」と言われることがある ③「話すのが速すぎて聞き取れないよ」と言われることがある ④「話す速さが遅すぎるよ」と言われることがある	①話す声小さくて聞き取れないことがある ②話す速さが速すぎて聞き取れないことがある ③話す声大きすぎる ④話す速さが遅すぎる	ひとりでする	同じセリフでも	同じセリフを、相手や状況の違いに応じて、言い方を考えて表現する。 (例)「明日は雨が降るでしょう」⇒天気予報をしているアナウンサーと、運動会の延期を伝える先生。	声の質(声の大きさ、速さ、間、明瞭さ)を強く意識化させ、話す力に発展させるような音読力	内容や場面に応じて、声の大きさ、速さ、間、明瞭さなどを調節したり、工夫したりする力
				読み方を変えよう	話す内容や、場面に応じて声の質や表情を変えて音読する。 (例)うれしいニュースと悲しいニュースを声の質や表情を変えて読み、それぞれ録画して比べる。 同じ文章を、クラスで発表するとき、かくれてこっそり読むときとで、声の大きさを変えて読み、それぞれ録画して比べる。	内容や場面に応じて声の大きさや、速さを調節して音読する力	
				チャレンジ! 300字	1分間に300字の速さで読めるよう練習する。教科書で学習した文章の中から300字程度の話を選び、話す速度を意識して、練習する。	話す速度を意識しながら発表をする力	
				早口言葉エクササイズ	早口言葉を例から選んで、3回ずつ言う。	音声力・音読力・話す力	
				大事なことのつたえ方	大事なことを上手に伝える方法(強弱をつける、間を開けるなど)を知り、例文を読んで練習する。	大事なことを上手に伝える方法(強弱、間など)を理解し、実践する力	
				話し方を学ぼう	NHK for schoolの話し方(適切な声の大きさ、速さなど)に関する動画の紹介。	相手との距離や人数に応じて、声の大きさを調節することのよさを知り、分かりやすく伝える力	
				はい、元気です!	「はい、元気です」の「元気」を別の言葉にして、大きな声で言う。 (例)好きな食べ物にする。⇒「はい、ハンバーグです。」	楽しみながら、人前で声を出す力	
				まねっこしよう	先生や友だちが言った単語を繰り返して言う。先生が大きさ、速さを変えて言い、それを繰り返すことで、声の出し方の練習をする。	声の出し方、大きさ、速さの調節力	

「話す」ことにおける「困難さ」	チェックリスト項目(児童用)	チェックリスト項目(担任用)	タイプ	教材		教材ごとの「困難さ」を改善・克服するために必要となる力	「困難さ」を改善・克服するために必要となる力					
				タイトル	内容							
並びを言い間違えることがある	⑤「テレビ」を「テレビ」など、言葉の中の音の並びを言い間違えることがある	⑤「テレビ」を「テレビ」など、言葉の中の音の並びを言い間違えることがある	ひとりでする	しりとりエクササイズ	自分でしりとりをして言葉を10個集めて、音読する。	いろいろな言葉を集めて、語彙を増やす力	音韻認識を高め、語彙を増やす力					
				一文字変えて	言葉の一文字を変えて、別の言葉にする。リズムよく音読する。 (例)「みかん」⇒「やかん」⇒「どかん」	音韻認識を高め、語彙を増やす力						
				アクセントエクササイズ	同音異義語の入った文章を、アクセントに気をつけながら音読する。 (例)「飴を買ったら、雨がふってきた」	一つ一つの単語の発音を考える音声化の能力を育成し、同音異義語の語彙を増やす力						
				「あ」のつく言葉	ある文字で始まる(終わる)言葉を集める。 (例)最初に「あ」がつく言葉、最後に「ん」がつく言葉	クイズ感覚で言葉を学び、語彙を増やす力						
並びを言い間違えることがある	⑥何と言えよのかわからなくなったり、言葉にまつたりする	⑥何と言えよのかわからなくなったり、言葉にまつたりする	みんなでする	さかさ言葉	友だちが言った言葉を逆さにして答える。 (例)「さかな」⇒「なかさ」	文字を逆の順番で言うことで、音韻認識を高め、語彙を増やす力	語彙の意味や使い方を知り、使いこなせる語彙を増やす力					
				言葉のマップ	イメージマップで連想した言葉を書く。 (例)「先生」⇒「おもしろい、えがお、やさしい」	使いこなせる言葉を増やす力						
(4)ある言葉を間違った意味において使うことがある	⑦意味が分からない言葉がある	⑦ある言葉を間違った意味において使うことがある	ひとりでする	くりかえしのある言葉クイズ	「ごろごろ、我々、だんだん、ほのぼの」のような言葉(畳語)を集めて、音読する。集めた言葉が答えになるクイズを考える。 (例)「どんどん」⇒「机をたたく音は?」	畳語という単語の種類があることに気づき、畳語の語彙を増やす力	表現のいろいろな方法を理解する力					
				これって 何の音	擬音語・擬態語から連想する言葉を考えたり、文を作ったりする。 (例)「うずうず」⇒「早く学校に行きたくてうずうずしている。」	擬音語・擬態語に親しみ、文を書くときに使える力						
				言葉あつめゲーム	お題からイメージする言葉を書く。 (例)「赤色のもの」⇒「ポスト、赤鉛筆、赤白帽子」など。	ゲーム感覚で言葉集めをして、語彙を増やす力						
				ネタ帳をもとう	メモのよさや、方法を知る。クロームブックのメモ機能の使い方を知り、メモをする練習をする。	メモする習慣を身に付け、話すときに生かす力						
				反対言葉	問題の言葉の反対の言葉を答える。 (例)「暑い」⇒「寒い」、「広い」⇒「狭い」	反対の意味の言葉を知り、語彙を増やす力						
				どんな気持ち?	「行動」に続く「感情を表す言葉」を選択肢から選び、文を作る。 (例)「遊ぶのは」⇒選択肢から「楽しい」を選ぶ。	気持ちを表す言葉を知り、表現することができる力						
				何のなかまかな?	いくつかの言葉の共通点を探して答える。 (例)「ボールペンと消しゴム」⇒「文房具」	イメージを作る言葉遊びに取り組み、共通点を表す言葉を知り、語彙を増やす力						
				何しているの?	絵や写真を見て、5文程度でお話をつくる。写真をよく観察し分かることや、「このあとどうなるか想像する」などしたことをもとにお話を考え、写真を見せながらスピーチをする。	話題設定力を高め、文章を構成する力						
				わたしは石になる	⑧何を言いたいかわからなくなったり、言葉にまつたりする	⑧何を言いたいかわからなくなったり、言葉にまつたりする		みんなでする	言っていない	「言っていない言葉」を指定し、グループや、クラス全員でしりとりをする。 (例)しりとりの中に、「動物」の名前を言っていない。	言葉に気を付けながら話し、他の言い方を考えながら、語彙を増やす力	表現のいろいろな方法を理解する力
									わたしは石になる	身の回りにあるものになりきってインタビューを受ける。 (例)「鉛筆」⇒「鉛筆さんはどんな時にうれしいですか。」	ものになりきってその役割や気持ちを想像し、いろいろな表現の仕方を理解する力	

「話す」ことにおける「困難さ」	チェックリスト項目(児童用)	チェックリスト項目(担任用)	タイプ	教材		教材ごとの「困難さ」を改善・克服するために必要となる力	「困難さ」を改善・克服するために必要となる力
				タイトル	内容		
(5)主語、述語の文が作れないなど、文法構造の理解ができていない (6)「は」「が」「を」「へ」など、助詞を適切に使うことが難しい	⑧「わたしは」「○○が」などの主語をつげずに話すことがある ⑨「は」「が」「を」「へ」などの助詞を適切に使うことが難しい		ひとりでする	○○になりきって、お話づくり	自分以外の人、ものなどになりきって、お話を作り、音読をする。 (例)「うさぎ」⇒「わたしはうさぎです。日曜日に川に行きました。そこで魚を見つけました。…」	決められた文章の型に合わせて、柔軟に表現する力	基本的な文の型、文章の構成を理解する力
				だれが何をどうした	「いつ、どこ、だれが、何を、どうした」に当てはまる言葉を、例から選んだり、自分で考えたりして文章を作る。	基本的な文の型を覚え、活用する力	
				2つを1つに 1つを2つに	2文を1文にしたり、1文を2文に分けたりする。接続詞の使い方に気を付けて文を作り、音読する。 (例)「僕は今日外で遊びました。ドッジボールをして遊びました。」⇒「ぼくは今日外でドッジボールをして遊びました。」	必要に応じて、短くしたり、長くしたりして場に合う原稿に書き換え、構成を考えて話す力	
				お話しリレー	決められた接続語を使って、お話を作る。 ①「むかしむかしあるところに」②「毎日毎日」③「ところが」④「そして」⑤「最後に」など、決められた接続語のあとに、文をつけてお話を作る。	決められた接続語を使って想像を広げ、助詞を正しく使って文を作る力	
				「は」かな？ 「へ」かな？	助詞を抜いた、単語だけが並んだ文に助詞を入れて文を作る。また、助詞を変えて、文を作り直す。 (例)「ぼく〇、先生と遊んだ。」⇒「ぼくは、先生と遊んだ。」 「先生は、ぼくを、ほめた」⇒「ぼくは、先生に、〇〇〇〇。」	助詞の使い方を理解する力	
				みんなでお絵かき	自分で描いた絵を言葉で説明する。友だちが同じ絵を描けるように、説明を工夫する。 (例)「花」⇒「花です。真ん中にまるを描いて、花びらを5枚描きます。茎があって、下に葉が2枚あります。色は…。」	言葉を選んで話すための、いろいろな表現力	
				みんなでお話づくり	グループで5W1H を分担して、自由に書き、順番に発表して文を作る。 (例)「いつ」「どこで」「何を」などをグループで分担して、それぞれが自由に言葉を考え、「いつ」「どこで」「何を」「どうした」の順で言葉を出して、文を作る。	話す時に、基本的な文の型を意識して話す力	

「話す」ことにおける「困難さ」	チェックリスト項目(児童用)	チェックリスト項目(担任用)	タイプ	教材		教材ごとの「困難さ」を改善・克服するために必要となる力	「困難さ」を改善・克服するために必要となる力	
				タイトル	内容			
(7)内容を分かりやすく伝えることが難しい (8)思いつくままに話すなど、筋道の通った話をするのが難しい	⑩話をしているとき、「話が分かりにくいよ」と言われることがある ⑪思いつくままに話して、何の話をしているのか分からなくなることがある	⑩伝えたい内容を分かりやすく伝えることが難しい ⑪思いつくままに話すなど、筋道の通った話をするのが難しい	ひとりでする	だれが何をどうした	「いつ、どこ、だれが、何を、どうした」に当てはまる言葉を、例から選んだり、自分で考えたりして文章を作る。	基本的な文の型を覚え、活用する力	基本的な文の型、文章の構成を理解する力	
				2つを1つに1つを2つに	2文を1文にしたり、1文を2文に分けたりする。接続詞の使い方に気を付けて文を作り、音読する。 (例)「僕は今日外で遊びました。ドッジボールをして遊びました。」⇒「ぼくは今日外でドッジボールをして遊びました。」	必要に応じて、短くしたり、長くしたりして場に合う原稿に書き換え、構成を考えて話す力		
				お話しレー	決められた接続語を使って、お話を作る。 ①「むかしむかしあるところに」②「毎日毎日」③「ところが」④「そして」⑤「最後に」など、決められた接続語のあとに、文をつけてお話を作る。	決められた接続語を使って想像を広げ、助詞を正しく使って文を作る力		
				手の力でつたえよう	手を動かしながら、話す練習をする。「ナンパリングの数字を指で表す」「『大きい』『小さい』を、手を使って表す」などを学び、練習する。	自分の思いを、身振り手振りを使って分かりやすく伝える力		理解、相手を意識し、分かりやすい伝え方を
				つけたしトレーニング	理由や原因を付け加えて話す練習をする。 (例)「本を読むとよい」の理由を3つ書いて、スピーチする。	分かりやすく、説得力のある文章構成力		
				もり上げ上手!	話を盛り上げる方法について学び、文を作って、話す練習をする。「えがお」で話す練習、「たとえば」を使って話す練習、言いたいことを「クイズ形式」にして話す練習などをする。	盛り上がる話にするための工夫を知り、話すときに生かせる力		
			みんなでする	ぴったりをねらおう	「〇〇が好きな人」などの質問にクラスの何人が手を挙げるか、グループで話し合って予想をする。 (例)「赤よりも青が好き」と答えるのがクラスで何人いるか、グループで話し合って予想する。クラスで手を挙げて調べ、予想に近いかどうかを競う。	相手の意見に合わせて、自分の考えを表現する力	相手の意見を踏まえながら、自分の意見を分かりやすく伝える力	
				「せえの」でそろえよう	みんなが一致しそうな答えをグループで話し合って予想する。 (例)「みんなが楽しめる遊びは」⇒クラス全員が一致しそうな遊びは何かグループで話し合って予想し、クラスで「せえの」で言って、そろうかどうかを楽しむ。	友だちの意見を尊重する態度を身に付け、相手の意見に合わせて、自分の考えを表現する力		
				みんなできなればかえ	クラスで「誕生日順」「早く寝た順」などに、話し合いながら並び替える。	一つのテーマで友だちと質問したり答えたりすることで、状況に合わせて表現する力		

「話すこと」における「困難さ」	チエックリスト 項目(児童用)	チエックリスト 項目(担任用)	タイプ	教材		教材ごとの「困難さ」を改善・克服するために必要となる力	「困難さ」を改善・克服するために必要となる力
				タイトル	内容		
(9) その場に応じた話をするのが難しい	⑬ ⑫ 敬語など、ていねいな言葉で話すことが苦手である ⑬ その場の話題と異なる話題を話すことがある	⑬ ⑫ 敬語など、ていねいな言葉で話すことが苦手である ⑬ その場の話題と異なる話題を話すことがある	ひとりでする	ですよね。だよね。どっち?	テーマをもとに自分でスピーチのメモを書き、相手を選んで、相手に合わせた言い方に変えて話す。 (例)「僕の好きな教科は算数です。」 ⇒(友だちに)「僕は算数が好きなんよ。わけは…。」 ⇒(校長先生に)「校長先生聞いてください。僕の好きな教科は算数です。理由は…。」	相手によって表現の仕方を変える必要があることを実感しながら話す力を高める力	相手・場面に応じて、表現する力を身に付ける
				おなやみ相談	学校の先生方等の悩みを聞いて、アドバイスを考える。	相手のことを考えて助言しようとする態度や表現力を身に付ける力	
				どんな気持ち?	「行動」に続く「感情を表す言葉」を選択肢から選び、文を作る。 (例)「あそぶのは」⇒選択肢から「たのしい」を選ぶ。	気持ちを表す言葉を知り、表現する力	
				何でそうなの?	お話を聞いて、登場する人の行動の理由を考える。 (例)「一郎君が学校の廊下を走っていた時、むこうから校長先生が歩いてきました。一郎君は走るのをやめました。一郎君は、なぜ走るのをやめたのでしょうか。」などの問題に、登場人物の気持ちになって考えて答える。	想像力を高める推理クイズに取り組み、答えを文章化するすることで、身に付く文法的な構成力	
				話し方を学ぼう	NHK for school の話し方(相手や場面に応じて)に関する動画の紹介	相手や場面に応じて、話し方や内容を工夫して伝える力	
			みんなでする	気持ちのつたえ方	いろいろな状況に応じて、自分の思いをどのように相手に伝えるか考えて、二人組で話す練習をする。 (例)ゲームを貸して返してほしいAさん役と、ゲームを持ってくるのを忘れたBさん役になり、お互いの気持ちを考えながら役割演技をする。	相手・場面に応じてどのような応答が必要かを理解し、話す時に生かす力	
				上手に言えるかな?	職員室へ入るとき、忘れ物した時など、状況に応じてどのように話すか考え、練習する。	応答を的確に伝えるためにどのような表現が必要かを理解し、表現する力	
				何しているの?	絵や写真を見て、5文程度でお話を作る。写真をよく観察し分かることや、このあとどうなるか想像するなどしたことをもとにお話を考え、写真を見せながらスピーチをする。	話題設定力を高め、文章を構成する力	
				わたしをアピールしよう	自己紹介の準備をする。自分を見つめなおし、自分のことをいろいろな言葉で表現する。	自分のことを見つめ直し、表現のする力	
				〇〇になりきって、お話づくり	自分以外の人、ものなどになりきって、お話を作り、音読をする。 (例)「うさぎ」⇒「わたしはうさぎです。日曜日に川に行きました。そこで魚を見つけました。…」	決められた文章の型に合わせて、柔軟に表現する力	
(10) 単語を羅列したり、短い文で内容に乏しい話をしたりする	⑮ ⑭ 文ではなく、単語で話すことがよくある ⑮ 長い文章で、くわしく説明をすることが苦手である	⑮ ⑭ 文ではなく、単語で話すことがよくある ⑮ 長い文章で、くわしく説明をすることが苦手である	ひとりでする	つけたしトレーニング	理由や原因を付け加えて話す練習をする。 (例)「本を読むとよい」の理由を3つ書いて、スピーチする。	分かりやすく、説得力のある文章構成力	理由などを付けて、詳しく
				それってどんなもの?	お題の名詞について、何をやるものかなど考えて、スピーチをする練習をする。 (例)「鉛筆」「わたしは鉛筆について深く考えました。鉛筆は紙に字や絵をかくときに使います。鉛筆は芯が細くなると削らないといけません。みんなにもっと鉛筆を使ってほしいです。」	一つの言葉について深く考え、分かりやすく伝えられるスピーチ力	



# デジタル教材を使用する流れ

## I 「話すことチェックリスト」をする



第5・6学年は、このようにします。

話すことチェックリスト			えらぶシート		
1. 全部で15こあります。 あてはまるものをえらんで、チェックボタンをクリックしましょう (5つまで、えらんでいいです) けしたいときは、もういちどクリックします			2. 「ひとりで」するか、「みんなで」するかえらびます。 「これがいいよ」のとなりの、「スタート」をクリックしましょう		
チェック項目	1	2	3	「みんなで」やってみよう	
① 「声が小さくて聞こえないよ」と言われることがある	<input checked="" type="checkbox"/>	→	これがいいよ→		これがいいよ→
② 「声が大きすぎるよ」と言われることがある	<input type="checkbox"/>	→		スタート	スタート
③ 「話すのが速すぎて聞き取れないよ」と言われることがある	<input type="checkbox"/>	→			
④ 「話す速さが遅すぎるよ」と言われることがある	<input type="checkbox"/>	→			
⑤ 「テレビ」を「デビレ」など、言葉の中の音のならびを言いまちがえることがある	<input checked="" type="checkbox"/>	→	これがいいよ→	スタート	これがいいよ→
⑥ 何と言えばよいか分からなくなったり、言葉につまったりする	<input type="checkbox"/>	→		スタート	
⑦ 意味が分からない言葉がある	<input checked="" type="checkbox"/>	→	これがいいよ→	スタート	これがいいよ→

1 「話すことチェックリスト」から、当てはまるものの項目の□に、☑をする。

2 「えらぶシート」に、「これがいいよ」と提示される。  
3 その隣の「スタート」ボタンをクリックする。



第3・4学年は、このようにします。

えらぶシート		
1. 先生に教えてもらった番号 (ばんごう)のチェックボタンをクリックしましょう		2. 「ひとりで」するか、「みんなで」するか 「これがいいよ」のとなりの、「スタート」を
番号	チェック	「ひとりで」やってみよう
①	<input checked="" type="checkbox"/>	→
②	<input type="checkbox"/>	→
③	1	→
④	<input type="checkbox"/>	→
⑤	<input checked="" type="checkbox"/>	→
⑥	<input type="checkbox"/>	→
⑦	<input checked="" type="checkbox"/>	→

1 「話すことチェックリスト」から、担任が、当てはまるものの番号を選択し、児童は、その番号の□に、☑をする。  
2 「えらぶシート」に「これがいいよ」と提示される。  
3 その隣の「スタート」ボタンをクリックする。

## II デジタル教材の選択及び学習内容



クリックをすると「困難さ」に応じた教材の一覧が提示されます。学習したい教材名を選択し、学習を始めます。

### 例:「おなやみ相談」の学習

教材名を  
クリック

タイトル	1	
ですよね、だよね、どっち?	▼	
<b>おなやみ相談 (そうだん)</b>	▼	

#### おなやみ相談(そうだん)

**相手(あいて)の気持ち(きもち)を考えて、アドバイスをしよう**

- 先生や友だち、国語の物語(ものがたり)文に出てくる登場人物(とうじょうじんぶつ)などの「おなやみ」を聞いて、アドバイスをしてあげましょう。
- ノートやクロームブックのメモ機能(きのう)などにメモしてもよいです。



つぎへすすむ

- なやんでいる人の気持ちになって考えてあげましょう。
- 同じことでなやんでいたら、そのことを言ってあげてもいいですね。
- なやんでいる人が、次からがんばられるようなアドバイスをしてあげましょう

つぎへすすむ

#### レベル1

- おきの先生
- 「朝ねむたくて、なかなかふとんから出られません。どうすればいいですか。」

つぎへすすむ

#### レベル2

- 豆太(モチモチの木)
- 「いまだにトイレに一人でいけません。どうしたらいいですか。」

つぎへすすむ

#### レベル3

- 「おおきなかぶ」のお話のおじいさん
- 「おおきな かぶを めいたけれど、どうしたらいいですか。」

つぎへすすむ

#### レベル4

- 担任(たんにな)の先生 ←聞いてみましょう。
- 「  
」
- 休けい時間に、考えたことをアドバイスしてあげましょう。

つぎへすすむ

#### レベル5

- クラスの友だち**の「おなやみ」を言ってもらってアドバイスを考えましょう。
- 休けい時間に、考えたことをアドバイスしてあげましょう。

つぎへすすむ

#### おなやみ相談(そうだん) ふりかえり



- 相手の気持ちを考えて、アドバイスを考えることができた
- 考えたアドバイスを、相手に伝えることができた。

★自分ができたレベルのところまで、○をきろくしましょう。

←プレゼンテーションを終了して、

「めざせ！お話名人！」のタブをクリック

もういちどする

### III 記録



学習が終わったら、記録をします。

#### 例:「おなやみ相談」の学習

最後のページ

おなやみ相談(そうだん)  
ふりかえり

○相手の気持ちを考えて、アドバイスを伝える。  
○考えたアドバイスを、相手に伝える。

★自分ができたレベルのところまで進めよう。  
○プレゼンテーションを終了して、「めざせ!お話名人!」のタブをクリック

Esc を押す。

もういちどする

めざせ!お話名人! 5・6年生用

30 おなやみ相談 (そうだん) - Google Chrome

「めざせ!お話名人!」のタブをクリックする。

おなやみ相談 (そうだん)  
ふりかえり

#### これがいいよシート, きろくシート

☆ここからえらんでやってみよう! ☆タイトルをクリックしましょう

☆おわったら「めざせ!お話名人!」のタブをクリックして、ここにもどって○をしよう!  
☆レベル1がおわったら「1」のところに、レベル5まで終わったら5つ全部に○をしよう

⑥ タイトル	おわったらクリックして○をつけよう					合計	😊	話すこ
	1	2	3	4	5			
ですよね, だよね, どっち?						0		
おなやみ相談 (そうだん)	○	○	○	○	○	5	😊	
何でそうしたの?						0		

一覧に戻って「○」を入力し、記録を残す。

### IV 「ジャムボードでする」の表示がある場合



文字が入力された付箋を操作したり, 自分で文字を入力したりしながら, 学習することができます。

#### 例:「『は』かな?『へ』かな?」の学習

レベル2

「○」に当てはまる文字をえらびましょう。

は は は を を を      へ

④「えき (へ), 行きます。」

⑤「遊園地 (ゆうえんち) ○, 行きます。」

⑥「顔 (かお) ○, あらいます。」

⑦「おり紙 ○, おります。」

## 【参考文献】

- 海津亜希子(2019):『学習障害(LD)のある小学生中学生高校生を支援する個別の指導計画作成と評価ハンドブック』  
学研教育みらい
- 西岡有香(2018):「『聞く・話す』の指導」一般財団法人特別支援教育士資格認定協会編著『S.E.N.S 養成セミナー  
特別支援教育の理論と実践第3版Ⅱ指導』金剛出版
- 池田修(2009):『NHK伝える極意 達人に学ぶコミュニケーション②話す極意』汐文社
- 弥延浩史(2014):『小学校国語 クラス全員が熱中する!話す力・書く力をぐんぐん高めるレシピ50』明治図書出版
- 井上一郎(2019):『短時間で効果抜群!70のアレンジを収録!小学校国語科話すこと・聞くことのエクササイズ70』  
明治図書出版
- 齋藤孝(2020):『カーネギーおじさんに教わるシリーズ③こども「話し方入門」伝わる話し方』創元社
- 溝越勇太(2018):『1日5分小学校全員が話したくなる!聞きたくなる!トークトレーニング60』東洋館出版社
- 森篤嗣・牛頭哲宏(2010):『ロールプレイでコミュニケーションの達人を育てる 小学生のための会話練習ワーク』  
ココ出版
- 菊池省三・池亀葉子・NPO法人グラスルーツ(2015):『「話し合い力」を育てるコミュニケーションゲーム62』中村堂
- 田中和代・岩佐亜紀(2008):『高機能自閉症・アスペルガー障害・ADHD・LDの子のSSTの進め方―特別支援教育の  
ためのソーシャルスキルトレーニング(SST)―』黎明書房
- 秋田喜代美 ほか106名(平成31年)『あたらしいこくご一下』東京書籍